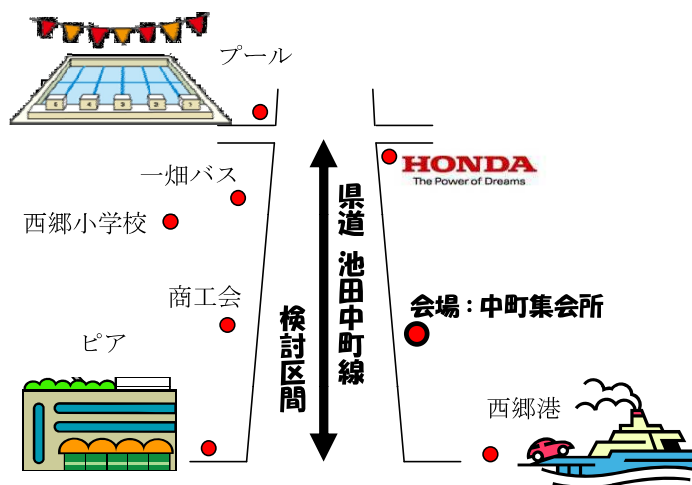


「県道 池田中町線」の今後のあり方について
地域のみんなで考えよう！



第2回 意見交換会

平成25年3月14日 (木) 19:30～ (2時間位)
中町集会所

県道 池田中町線 意見交換会【第2回】

第2回 意見交換会 の流れ

第1回のまとめ

意見を紹介しながら復習

参考資料説明

考えられる方法論の紹介

講演

岡山大学 橋本 成仁 准教授

【意見交換】

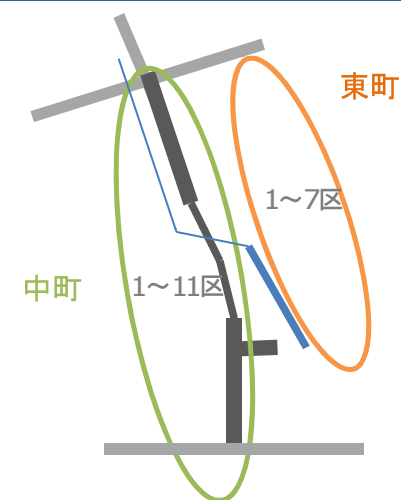
「あり方(手法)」について話し合い

みなさんのご意見を持ち帰って整理 →→→次回報告

本日ご参加頂いているみなさん

- 中町1区～11区のみなさん
- 東町1区～7区のみなさん

- ◇ 岡山大学 橋本准教授(考える会より)
- 島根県
- 隠岐の島町



県道 池田中町線 意見交換会【第2回】

意見交換会
の
位置づけ

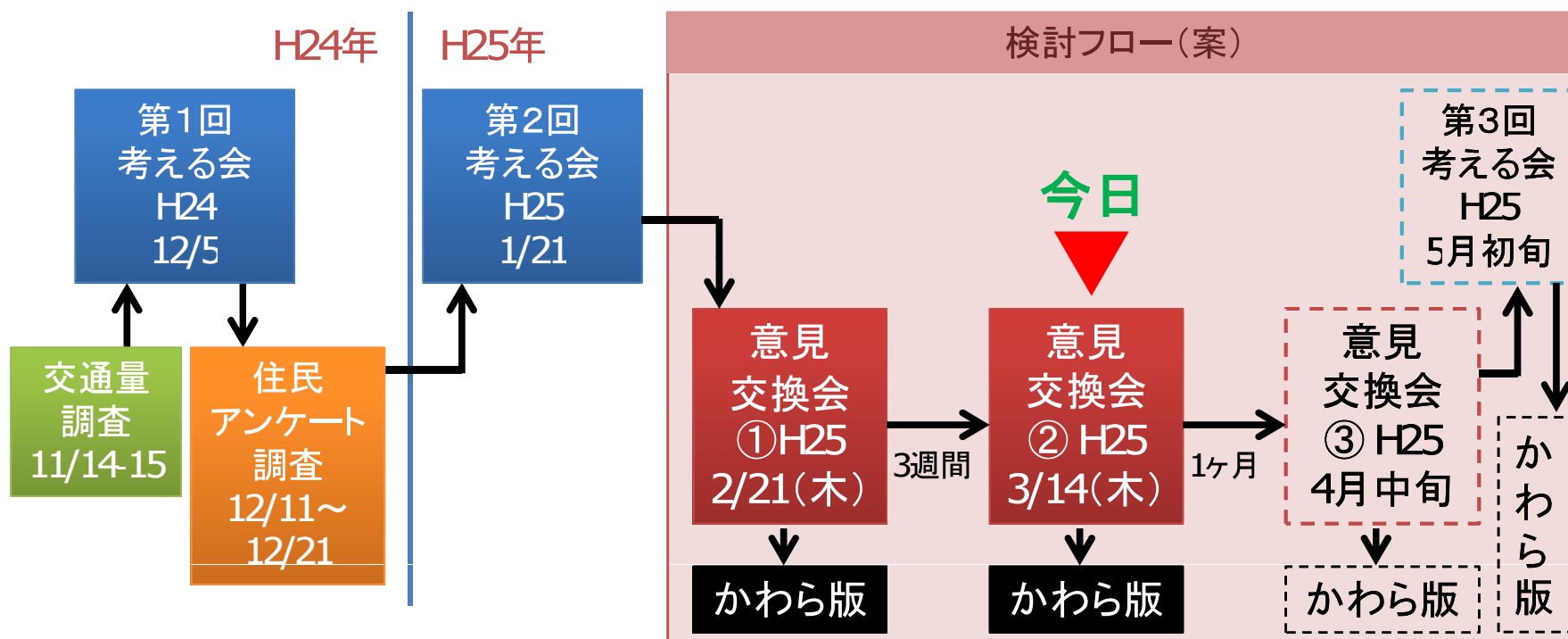
●県道 池田中町線を考える会

地元関係者、隠岐の島町関係者、島根県関係者で組織し、基本的な考え方・進め方を、整理・共有・調整する場。

●意見交換会（沿道の方を対象）

沿道の方を中心に道のあり方を意見交換する場。

スケジュール ▼



県道 池田中町線 意見交換会【第2回】

第1回意見交換会の結果 ワークショップ方式で行いました。

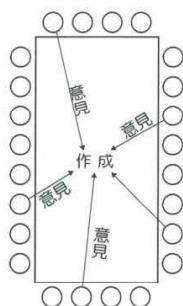
ワークショップとは▼

🕒 ワークショップは、参加者自らが、共同作業を行う中で提案や計画をまとめる手法です。

🕒 ワークショップでは、参加者ひとりひとりが意見をより表現しやすくするため、少人数(7~9人程度)によるグループ作業が中心となります。

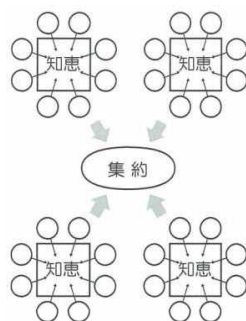
特徴と良いところ▼

従来の方法 (審議会方式)



- 大人数の前では、言いたいことがなかなか言いにくい
- 時間の制約により、全員の意見が出にくい(見えない)(全員が発言する時間がない)
- 限られた声の大きい人の発言や意見に左右されがち

ワークショップ



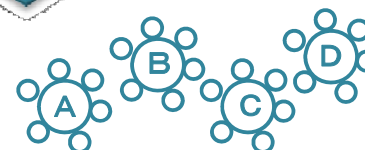
- 小人数のグループ作業が中心なので**意見が言いやすい**
- 小人数のグループに分かれて作業をするため**全員の意見が出せる(見える)**
- **参加者全員の意見をまとめる形で結果を整理**

進め方のイメージ▼

テーマを設定:「〇〇について考えよう」

■各グループ単位で検討

同一テーマのもとグループに分かれて検討作業を行い、成果をまとめます



■グループごとに成果を発表

各グループで話し合った結果を、それぞれみんなの前で発表します。



全体でまとめ

各グループの結果を全体で確認しながら、ひとつの成果にまとめていきます。

県道 池田中町線 意見交換会【第2回】

＜ワークショップのようす＞



説明を受けた後
みんなで話し合いました



県道 池田中町線 意見交換会【第2回】

自慢できること▼

第1回意見交換会のまとめより

- みんな仲良し
- 便利な生活空間（港や商業施設がある）
- 歩いて全ての用事ができる（後は役場の出張所のみ）
- 歴史的まちなみが残っている（保存地区にしてもよいと思う）
- 宇屋川と昔ながらの家並み景観はすばらしい
- 昔は川で遊び、山で遊んだ（北側には田んぼも沢山あった）
- 道が狭く譲り合うため、車同士の大きな事故は少ない

困っていること▼

第1回意見交換会のまとめより

- 狭い（歩行空間がなく危ない・車は通りにくい）
- ところどころ電柱がはみ出していて歩きにくい、車で通りにくい
- 小路からの飛び出しなど、危険と隣合わせ
- 道路端に段差や凸凹、溝ぶたの穴など歩行者にとって危険がいっぱい
- ミラーがないところがあり、車が来るのが分からない
- 特に小学校へあがるところが狭く危ない
- 車がスピードを出して危ない
- 待避所がない
- 家の駐車場がとりにくい
- 緊急車両が通れない（消防活動・救急搬送）
- まちの賑わいが少ない（昔、目貫通りといわれていたころは、「正装して歩く道だった」）
- 商店の数が減ってきた
- 空き屋が増えてきた



どんな「みち」にしたいか▼

第1回意見交換会のまとめより

- どんな道にするということを考える前に
先ずは、この地域をどのようなまちにしたいかが大切
- 地域のコミュニティが素晴らしく
拡幅による移転でまちが衰退することは望まない
- 歩いて用事ができ、仲良くしている人が多いこの地区を
終の棲家と考えている人が多く、高齢者が住みやすく
- このままでは衰退してしまうため
若者も住みやすい地区にすべき



広くて安全な道

でも……

仲良し
ご近所

向かいとの
距離感

移転の
こと

歩いて
生活

便利な
地域

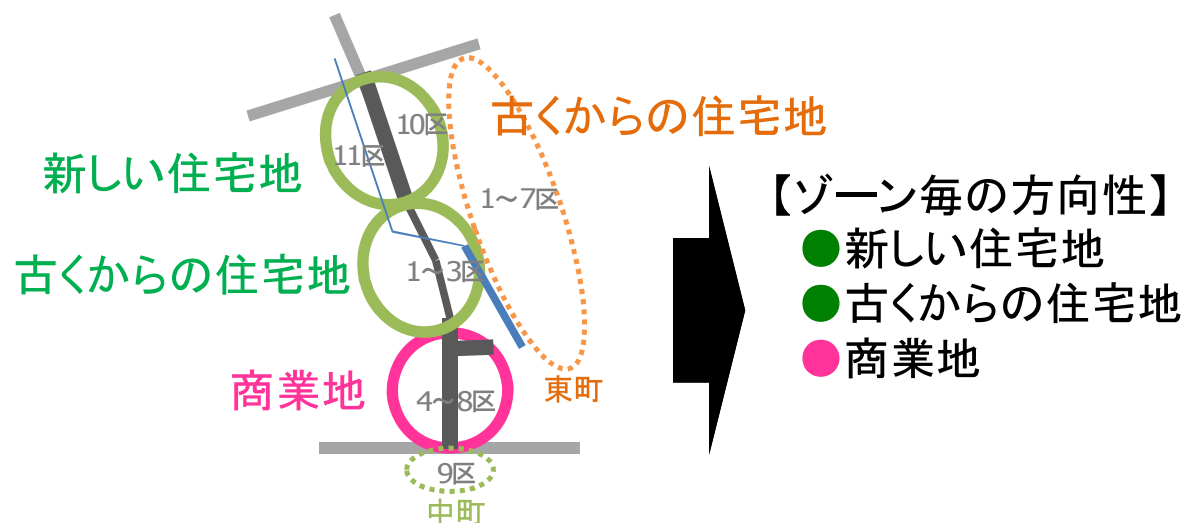
まちの
賑わい

現実を考えると、拡幅しない方法で工夫すれば良い

拡幅→安全面からは理想かもしれないが……。
という意見もある

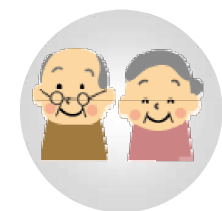
- 所々に待避所
- 歩行者優先の道
- 歩車共存道路
など方法で工夫する

- “みち”の特徴から(第1回意見交換会結果を受け)3つのゾーンに区分しました。



ゾーン毎に、あり方(手法)について考えましょう。
考えられる方法の紹介(アイデア集)を参考に、みんなで話し合います。

【考える視点】



お年寄りの目線



車の目線



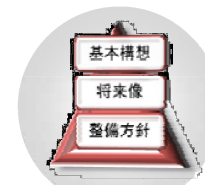
子どもの目線



商売の目線



住環境の目線



まちの
コンセプト



若者の居住

技術的な方法をいくつかご紹介します→参考資料参照

【参考資料】

アイデア集

考えられる方法の紹介▼

第1回の意見を整理した中で考えられる方法

■道路を広くする案

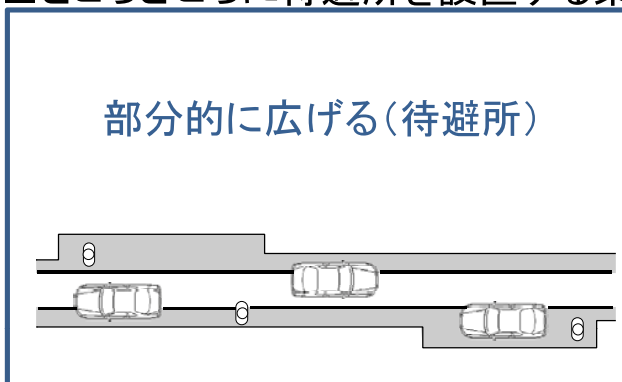
(車道と歩道を分離)

2車線＋歩道



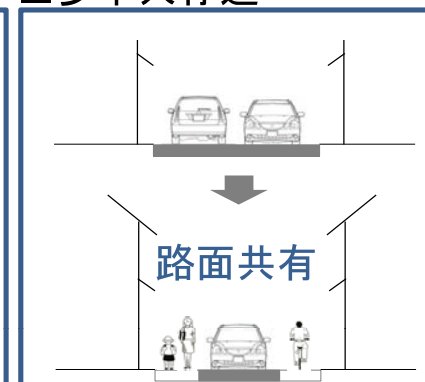
■ところどころに待避所を設置する案

部分的に広げる(待避所)



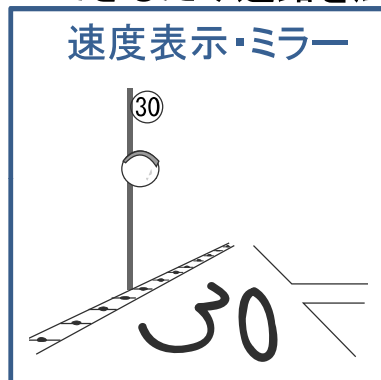
■歩車共存道

路面共有

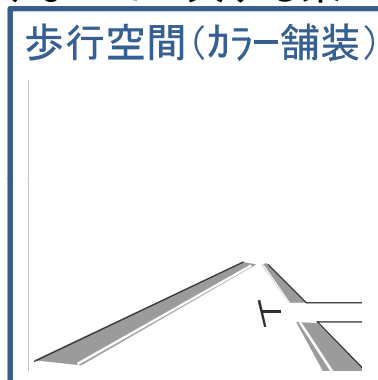


■できるだけ道路を広げないで工夫する案

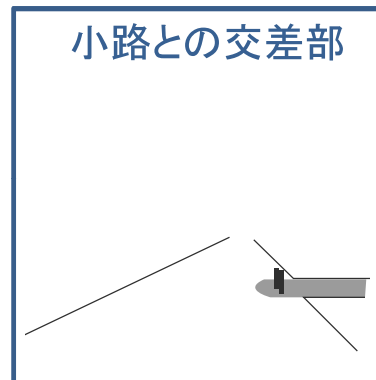
速度表示・ミラー



歩行空間(カー舗装)



小路との交差部



その他

<みんなのアイデア>

- ・ブロック塀の後退
- ・空き地利用
- ・速度規制
- ・狭いところだけ広げる
- ・一方通行化

など...

【参考資料】

考えられる方法の紹介▼

島根県内の事例紹介

■歩車共存道

「歩行者、自転車のサービスを優先し、自動車に対するサービスを限定する道路」



松江市内



海士町



奥出雲町

■カラー舗装による工夫



松江市内

■待避所と路面標示



松江市内

■ミラーや路面標示などによる工夫



松江市内



当該路線

考えられる方法の長所短所▼

それぞれの長所・短所を「整備効果」と「地元への影響」から整理

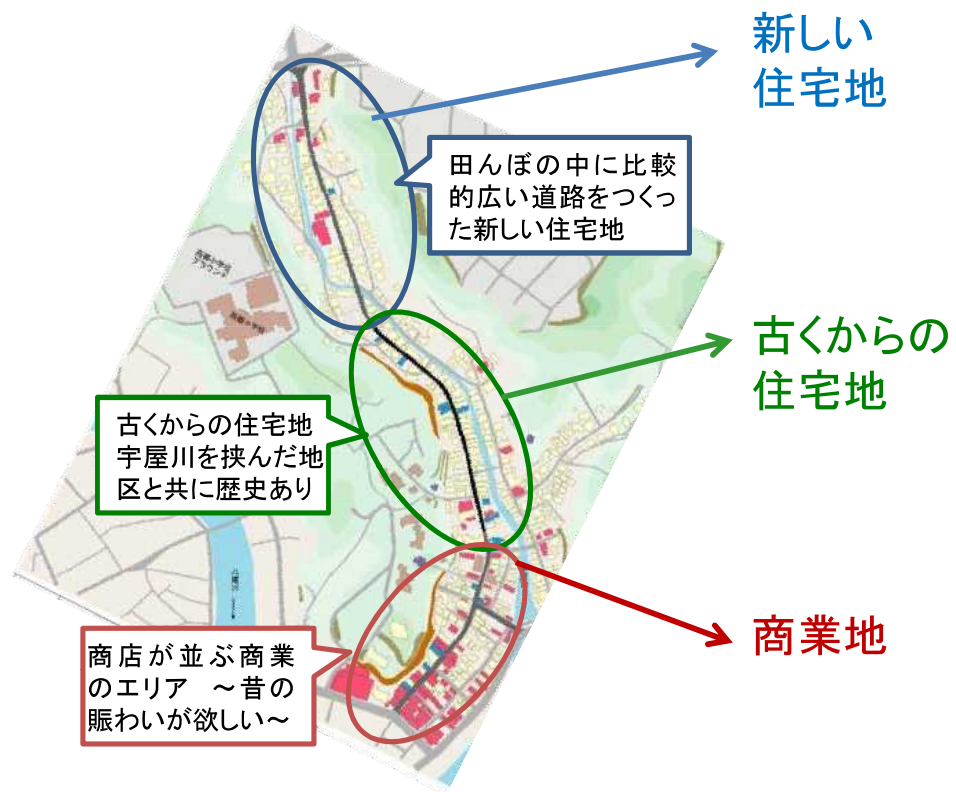
項目	整備効果		地元への影響	
	長所	短所	長所	短所
①拡幅案 車道と歩道を分離 (2車線+片歩道)	- 安全な歩行空間の確保 - 車が通りやすい空間の確保	- 抜け道としての利用増加の可能性 - 通りがやすくなったことによる速度超過の懸念	道路の線形によっては、片側だけの影響範囲も検討できる	- 全線にわたり影響範囲がでる - 移転対象家屋が多数発生 - 移転により世帯数の減少が懸念される
②一部改良案 (待避所)	離合困難箇所の解消	- 抜け道としての利用増加の可能性 - 通りがやすくなったことで速度超過の懸念 「ゆずり合い」に依存する部分が多い - 歩行者の安全が、車のマナーに依存する部分が多い	- 影響範囲が少ない - 既存の空き屋・空き地利用ができる - 現在の住宅地機能が維持できる	空地利用・空き屋利用を基本とするが、住居移転もありうる
③歩車共存道路案	- 歩行空間の確保により歩行者へのサービスが改善する - 車が通りにくくなることにより、抜け道としての利用者が減ることが期待できる - 車の減速が期待できる	- 比較的交通量が多く、歩車分離でないため、安全面において問題が残る - 運転者にとっては通りにくい道路になる - 歩行者の安全が、車のマナーに依存する部分が多い 「ゆずり合い」に依存する部分が多い	移転など影響範囲がでない	
④現状工夫案 (速度・側溝・舗装等)	- 減速効果には一定の改善が期待できる - 歩行空間としてわずかな改善はできる(段差解消、歩行空間の表示)	- 狭い箇所の解消はできない - すれ違い難い箇所の解消はできない - 安全な歩行空間の確保に問題が残る	移転など影響範囲がでない	



第2回意見交換会

おわり

個人検討シート ゾーン毎に、どんな道がいいか、あり方(手法)について考えましょう！



案の番号	理由

案の番号	理由

案の番号	理由

<全体として>

--

まとめ ゾーン毎に、どんな道がいいか、あり方(手法)について考えましょう！

班

新しい住宅地

① 拡幅(歩車分離)	② 待避所
③ 歩車共存道路	④ 現状を工夫

古くからの住宅地

① 拡幅(歩車分離)	② 待避所
③ 歩車共存道路	④ 現状を工夫

田んぼの中に比較的
広い道路をつくった新
しい住宅地



古くから
の住宅地。
宇屋川を
挟んだ地
区と共に
歴史あり

商店が並ぶ商業のエリア
～昔の賑わいが欲しい～

商業地

① 拡幅(歩車分離)	② 待避所
③ 歩車共存道路	④ 現状を工夫

【全体として】

--